

環境マネジメント

環境方針に基づいた活動体制を組織し、
 全員参加により環境マネジメントシステム(EMS)を展開しています。

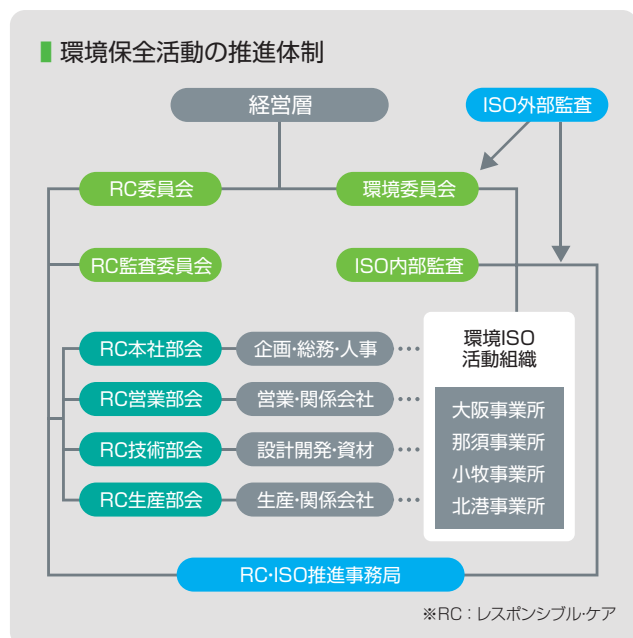
環境保全活動体制

当社では、会社の全組織をその業務内容により、本社部門・営業部門・技術部門・生産部門の4つに区分して「部会制」による活動を実施して、QC／工夫改善／レスポンシブル・ケア等の活動を行っています。

ISO活動では、会社組織の最小単位（通常は課・チーム等）での活動方式を取り入れ、部署長に運用責任をより多く委ねることとしています。

この活動体制を、ISOの基本である「全員参加」に一層つながるものと位置づけ、各自の意識向上はもとより、ISOの仕組みを自分たちの実際の業務に生かしていく努力を引き出すことを狙いとしています。今後もこの活動体制の定着を図っていきます。

環境保全活動の内容としては、工場が所在する那須事業所・小牧事業所を中心に、地球温暖化防止・水質汚濁防止・大気汚染防止・化学物質の管理・廃棄物の削減を中心とした取り組みを実施しています。



環境マネジメントシステム

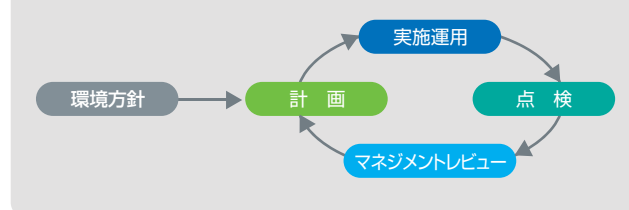
当社では、大阪事業所・那須事業所・小牧事業所・北港事業所の4事業所でISO14001認証を取得しています。2006年度以降は、ISO14001活動の日常業務への落とし込みによる一層の定着化を図り、特に若年層や間接部門の教育に注力して「全員参加」に結びつけるよう努力しました。

その結果、環境パフォーマンス面では生産主力拠点である那須工場、小牧工場で廃棄物のリサイクル化が進み、年度ごとに廃棄物の発生量削減につながりました。また、太陽光発電パネルの設置や、コージェネレーションシステムの活用等、地球温暖化防止につながる活動を実施して、効果を上げています。

● ISO14001 認証取得状況

事業所名	取得時期
大阪事業所	2002年3月
那須事業所	2003年3月
小牧事業所	2003年3月
北港事業所	2008年3月

■ 環境マネジメントの流れ



環境監査

■ 内部監査

内部環境監査は、ISO14001規格に基づき年1回定期的に実施されています。大阪事業所・那須事業所・小牧事業所・北港事業所における組織の最小単位にて設定された「目的・目標および実施計画」の運用、環境関連法の順守状況、事務局にて定めた重点項目の監査など、マネジメントシステムとしての有効性について監査を実施しています。

2009年度は、環境対応形商品の開発など、当社の本来業務に関わる内容についても監査を行い、ISO活動のさらなる徹底を図りました。

● 内部監査の実施状況

項目	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	
	'07 1~2月 実施	'08 1~2月 実施	'08 12月~ '09 1月 実施	'09 1~2月 実施	
対象事業所数	4	4	4	4	
活動単位数	71	70	70	69	
延べ日数	4	5	6	7	
延べ監査員数	54	46	60	61	
指摘 件数	軽欠点	28	9	19	20
	コメント	67	54	60	31

■ 外部審査

2009年度のISO14001外部審査は、2001年度取得以降の維持審査で、認証取得の継続が認められました。

マネジメントシステムの運用状況、環境対応形商品の開発状況やRC活動の動きなどとともに、各事業所での環境活動の状況、環境負荷物質や産業廃棄物の管理状況、法規制の順守評価などの審査が行われました。

その結果、「順守評価」、「監視及び測定」、「緊急事態への準備及び対応」などについての指摘があり、各部署での改善と横展開を図りました。

● 外部審査の実施状況

2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
'07 2月受審	'08 2月受審	'09 2月受審	'10 2月受審
対象：4事業所 軽欠点：1件 コメント：2件	対象：4事業所 軽欠点：6件 コメント：2件	対象：4事業所 軽欠点：3件 コメント：1件	対象：4事業所 軽欠点：4件 コメント：0件



「ISO14001外部審査」風景

環境教育

当社では社員を対象に、講義と実習で構成される環境安全講座を実施しています。

VOC規制や欧州におけるRoHS/ELV指令、2007年6月に施行されたREACH規制など、塗料と環境問題との関わりについての理解を深めることで、専門的営業能力の向上、営業活動のノウハウ、塗料及び塗装技術、環境対応の知識の習得を図っています。

また、新入社員を対象とする入社時研修プログラムでは環境に関する教育を行い、基礎知識を向上させることにより、各部署への配属後に役立つようなスキルアップに取り組んでいます。



環境に関する教育（新入社員研修）